

プログラム 発表者等紹介

プログラム

第1部「軍事史のなかの湾岸戦争」(09:00 - 12:00)

基調講演

デイヴィッド・A・デプテュラ (米空軍退役中将)

「『砂漠の嵐』航空作戦の立案と実行——効果ベースのアプローチ」

セッション

カーター・マルケイジアン (米海軍分析研究所 (CNA) 研究員)

「湾岸戦争がアメリカの戦略とその概念に対して与えた長期的影響」

ウィリアムソン・マーレー (米オハイオ州立大学名誉教授)

「RMAと西側の台頭——未来への含意」

塚本勝也 (防衛研究所理論研究部社会・経済研究室長)

「湾岸戦争と軍事革新」

総合討議

第2部「国際政治史のなかの湾岸戦争」(15:00 - 18:00)

基調講演

ローレンス・フリードマン卿 (英ロンドン大学キングスカレッジ名誉教授)

「湾岸戦争をめぐる国際政治」

セッション

ヒュー・ストローン卿 (英セントアンドリュース大学教授)

「イギリスにとっての湾岸戦争」

田所昌幸 (慶應義塾大学教授)

「日本外交にとっての湾岸戦争」

スティーブン・バジー (英ウーバーハンプトン大学教授)

「最初のメディア戦争」

総合討議

発表者等紹介

議 長

石津 朋之

現職：防衛研究所戦史研究センター長

略歴：修士（ロンドン大学キングス・カレッジ大学院）

主要著書等：

『リデルハート—戦略家の生涯とリベラルな戦争観』（中公文庫、2020年）；『戦争学原論』（筑摩書房、2013年）；『大戦略の哲人たち』（日本経済新聞出版社、2013年）

発表者（敬称略、発表順）

デイヴィッド・A・デプテュラ

現職：ミッチェル・エアロスペース研究所所長

略歴：米空軍退役中将

主要著書等：

“Parallel Warfare: What Is It? Where Did It Come From? Why Is It Important?” in *The Eagle in the Desert: Looking Back on U.S. Involvement in the Persian Gulf War* (Westport: Praeger, 1996); *Effects-Based Operations: Change in the Nature of War* (Arlington: Aerospace Education Foundation, 2001)

カーター・マルケイジアン

現職：米海軍大学院教授

略歴：博士（オックスフォード大学キーブル・カレッジ）

主要著書等：

Counterinsurgency in Modern Warfare (co-editor) (Oxford: Osprey Publishers, 2008); *War Comes to Garmser: Thirty Years of Conflict on the Afghan Frontier* (New York: Oxford University Press, 2013); *Illusions of Victory: The Anbar Awakening and the Rise of the Islamic State* (New York: Oxford University Press, 2017)

ウィリアムソン・マーレー

現職：米オハイオ州立大学名誉教授

略歴：博士（エール大学）

主要著書等：

The Making of Strategy: Rulers, States, and War (co-editor) (Cambridge: Cambridge University Press, 1994) [『戦略の形成—支配者、国家、戦争』（ちくま学芸文庫、2019年）]；*The Dynamics of Military Revolution, 1300-2050* (co-editor) (Cambridge: Cambridge University Press, 2001)；*War, Strategy, and Military Effectiveness* (Cambridge: Cambridge University Press, 2011)；*Military Adaptation in War: With Fear of Change* (Cambridge: Cambridge University Press, 2011)

塚本 勝也

現職：防衛研究所理論研究部社会・経済研究室長

略歴：博士（タフツ大学フレッチャースクール）

主要著書等：

『検証 太平洋戦争とその戦略』（共著）（中央公論新社、2013年）；『戦略原論——軍事と平和のグランド・ストラテジー』（共編著）（日本経済新聞出版社、2010年）

ローレンス・フリードマン

現職：英ロンドン大学キングスカレッジ名誉教授

略歴：博士（オックスフォード大学）

主要著書等：

The Gulf Conflict 1990-1991: Diplomacy and War in the New World Order (co-author) (Princeton: Princeton University Press, 1993)；*The Transformation of Strategic Affairs* (Abingdon: Routledge for IISS, 2006)；*A Choice of Enemies: America Confronts the Middle East* (London: Weidenfeld & Nicolson, 2008)；*Strategy: A History* (New York: Oxford University Press, 2013) [『戦略の世界史—戦争・政治・ビジネス』（日本経済新聞出版社、2018年）]

ヒュー・ストローク

現職：英セントアンドリュース大学教授

略歴：博士（ケンブリッジ大学）

主要著書等：

Clausewitz's 'On War': A Biography (London: Atlantic Books, 2007); *The Changing Character of War* (co-editor) (New York: Oxford University Press, 2011); *The Direction of War: Contemporary Strategy in Historical Perspective* (Cambridge: Cambridge University Press, 2013)

田所 昌幸

現職：慶應義塾大学名誉教授

略歴：博士（京都大学）

主要著書等：

『日米関係史』（共著）（有斐閣、2008年）；『戦後日本外交史』（共著）（有斐閣、2014年）；『「普通」の国 日本』（共編著）（千倉書房、2014年）

スティーブン・バジー

現職：英ウルヴァーハンプトン大学教授

略歴：博士（ケンブリッジ大学）

主要著書等：

The Gulf War Assessed (co-editor) (London: Arms and Armour, 1992); *Modern Military Operations and the Media* (Camberley: Strategic and Combat Studies Institute, 1994); *The Media and International Security* (editor) (London: Frank Cass, 2000)

歴史としての湾岸戦争

令和3年度戦争史研究国際フォーラム報告書

発行日 令和4年9月1日

編集・発行 防衛省防衛研究所

〒162-8808

東京都新宿区市谷本村町5-1

電話：03-3260-3011

FAX：03-3260-3034